

「企業における団体保険の見直しを！」

企業においても生命保険加入はほぼ100%という状況となっておりますが、実際その被保険者である従業員の方等が病気になった時、その保険で満足な対応が出来るのでしょうか？医療技術が発展した昨今でも、重い病気になって困っておられる方をたくさんお見受けしますが、もしそれが大切な従業員様であった時、お見舞金を出すだけで十分でしょうか？その病気に面と向かって戦ってくれる保険が最近多くの保険会社より販売されています。先進医療特約を付けた医療保険がまさしくそれです。企業を動かしているのは、コンピュータではなく人です。人を大切に出来る会社は更に発展していくと私は信じます。その人を守るこの保険を従業員様にも是非付けてあげてください。そして病気に対して一緒に戦ってください。そして無事定年を迎えた方には退職金の一部として、名義を書き換えて生涯続く保険を持たせてあげる事が出来れば、企業側としてもその従業員様の貢献に報いる事が出来るのではないのでしょうか？大切な方が病気になる前に、是非前向きに検討下さい。私共もご一緒に応援します。